



三井金属鉱業株式会社

三井金属

東京都品川区大崎 1-11-1

郵便番号 141-8584

報道各位

平成 13 年 1 1 月 1 6 日

三井金属 環境関連事業を強化

当社 三井金属（社長 宮村眞平）は、従来から各事業部、事業所、関係会社等において個別的に環境関連事業に取り組んで参りました。

しかしながら、今後益々重要性が増すと予想される環境関連事業のさらなる発展には、明確なミッションと損益責任をもった統合組織が必要であることから、12月1日付にて、全ての環境関連事業を環境事業本部として統合し、電子材料、金属、部品・加工に次ぐ当社事業の第4の柱と位置づけ、今後積極的に強化していくことと致しました。

< 環境事業本部設立 >

当社の環境関連事業は、金属リサイクル事業を中心として、廃棄物処理事業、環境関連商品製造・販売、環境調査・分析事業等、現状の売上高は約135億円となっており、具体的な事業内容は、次の通りです。

- ・ 製鋼煙灰処理による粗酸化亜鉛製造（三池製錬（株））
- ・ バッテリースクラップ処理による鉛地金製造（神岡鉱業（株））
- ・ 貴金属リサイクル事業（三井串木野鉱山（株）、神岡鉱業（株）他）
- ・ 排ガス処理用反応助剤製造（パーライト事業部）
- ・ 屋上緑化用等の土壌改良剤製造（パーライト事業部、石見鉱山（株））
- ・ 土壌調査/対策事業（三井金属資源開発（株））
- ・ 廃棄物処理事業（日本メサライト工業（株）、日本亜鉛鉱業（株）他）
- ・ 環境分析、アセスメント事業（（株）産業公害・医学研究所）

当社と致しましては、特に貴金属リサイクル、土壌調査/対策、廃棄物処理の事業分野を最優先分野として捉え、全国的ネットワーク構築による集荷体制強化、設備新增設等により、全社戦略の元で今後積極的な事業拡大を行い、現状売上高約135億円に対し、3年後を目途に約2倍の250～300億円規模の売上を目指していくことと致しました。

< 全社組織改編 >

上記環境事業本部設立に伴い、12月1日付にて次の通り全社組織を改編いたします。

(別添組織図ご参照)

- ・ 現行6事業本部(銅箔、MC、機能材料、金属、部品、関連)のうち、関連事業本部を廃止し、環境事業本部を設置する。
- ・ 鉛・化成品事業部および貴金属リサイクル推進部を廃止し、リサイクル事業部を設置する。
- ・ 環境事業推進部を新設する。
- ・ リサイクル事業部および環境事業推進部は、資源開発部およびパーライト事業部とともに環境事業本部に所属させる。
- ・ 関連事業部は、事業本部に属しない単独の事業部とする。

< 関連人事異動 >

上記組織改編等に伴う関連人事異動は、本日同時発表いたしました「人事異動のお知らせ」のとおりです。

以上

【本件お問い合わせ先】

三井金属 経営企画部広報室 かのえ 鹿江・浅木 Telephone 03-5437-8028